



語り合える「なかま」がいます。
分かり合える「ことば」があります。

Matsuyama School for the Deaf

松山聾学校では、きこえやことばの相談、いろいろな体験活動等も行っています。

- 難聴のある乳幼児の相談・保育(個別指導・集団指導)
- 保育園、幼稚園、小学校・中学校・高等学校・中等教育学校、特別支援学校などに在籍する聴覚障がいのある幼児児童生徒に対する本校の参観や授業交流等を通じた相談・支援
- 聴覚障がいのある幼児児童生徒にかかわる先生方や支援員、在籍校(園)への相談・支援・研修
- 軽度難聴、一側性難聴、聞こえに困り感のある幼児児童生徒への相談・支援
- 幼児児童生徒や保護者の方のニーズに応じた、難聴児支援関係機関との連携・協働による支援

Q.聴覚障がいがあると、ことばの発達が遅れると聞いたのですが・・・。

A. 聴覚に障がいがあると、音声による情報の受容が制限され、『話し言葉』によるコミュニケーションが難しくなり、音声による『ことばの発達』が遅れると言われています。しかし、早期から補聴器や人工内耳を活用することや身振りや手話などの視覚的な方法でコミュニケーションを円滑にするなど、適切なかわりにより『ことばの発達』を促すことができます。

Q.学校の児童に難聴児のことをどのように伝えたらよいでしょうか？

A. 難聴児のことをどのように受け止め、どのように接したらよいか、学級や学校の子どもたちに具体的に示してあげることが大切です。松山聾学校では、担当者が地域の学校へ出向き、難聴理解啓発の授業をサポートしています。

Q.聴覚障がいがあり進路選択に悩んでいます。なにか情報はありますか？

A. 松山聾学校では、本校を含めて愛媛県内の学校に在籍している聴覚障がいのある児童生徒の進路相談に応じてきました。これまでの本校の相談実績から、お子様の自己実現に向けた進路に関する最新情報を提供いたします。

お問い合わせは...

〒799-2655 愛媛県松山市馬木町2325番地
TEL 089-979-2211 FAX 089-979-2214

URL <https://matsuyama-sd.esnet.ed.jp> E-mail matsd-ad@esnet.ed.jp



愛媛県立松山聾学校
令和4年度 学校案内



幼稚部

経験の「言語化」を促し、豊かな心とことばの基盤を培います。



小学部

一人一人に合わせた授業により、基礎学力の向上と定着を図ります。



中学部

コミュニケーションの充実を図り、多様な個性を伸ばします。



高等部

普通科・理容科の2科体制で希望の進学・就職をサポートします。

松山聾学校は…

聴覚に障がいのある幼児児童生徒のために、幼稚部、小学部、中学部、高等部(普通科・理容科)を設置しています。授業では、聴覚障がいに配慮した学習はもちろん、少人数の強みを生かした個に応じた指導を行うとともに、校外での学習や交流及び共同学習などを計画的に実施しています。また、各部の児童や生徒全員が集まって行う活動、児童会や生徒会の活動など、異年齢集団の活動の場を設け、子どもたちの対人関係や社会性の向上にも努めています。

明治40年、当時、余土村村長であり自らも視覚障がい者であった森恒太郎(盲天外)氏が設立してから115年目を迎える松山聾学校。歴史と伝統を大切にしながら、社会の変化に対応し、一人一人のニーズに応える教育を実践していきます。

自立活動

説明できる?自分の障がい



キャリア教育

聴覚障がい者のキャリア形成



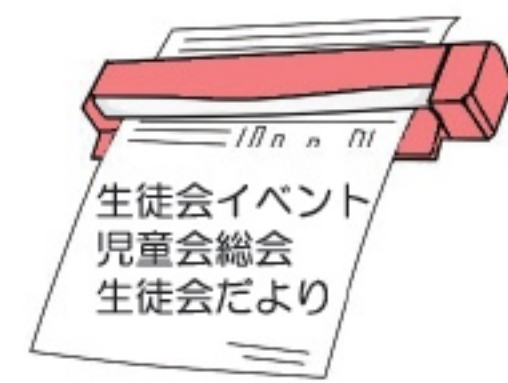
寄宿舍

ワタシが決めるワタシの時間



生徒会・児童会から

手話で楽しい学校生活を



学校生活



修学旅行



運動会



奉仕活動



保育



授業



文化祭

交流及び共同学習

障がい者のある人とない人が、学び、触れ合う共生社会へ



同世代・協働で



地域の方と



居住地で

近隣校と